

丹波中休校中だより

みんなでピンチを乗り越えよう！

生徒向け通信：No.4.3.19 丹波中校長：清水浩喜

生徒にインタビュー！暇すぎ？充実？それとも？

3/16（月）、課題の提出等で自主的に登校してきた4名の生徒に、みんなの部屋で質問形式のインタビューをしました。その様子をお伝えします。今後も、生徒たちの生の声をお届けしていく予定です。

Q1：臨時休業中の生活は、どうですか？困ったことは、ありませんか？

・「ただ、ひたすら暇です。」「暇だけしかありません。」

・「意外と充実しています。家の仕事や宿題などで、やることがいっぱいです。」

※あれだけ学校生活を充実させてきたみんなですから、この休校措置は、大きな試練といえます。そして、時間の経過とともに、空虚ともいえる何とも言い難い時間が過ぎていきます。これは、先生方も同じです。そんな時は、読書、新聞に、はまってみましょう。運動にも、挑戦しましょう。そして、先生方に連絡をとってみましょう。

Q2：未履修（学習が終わっていない内容）について、どうしていくか。

・「やらなければならないと思います。でも、土曜日や日曜日にやるのは、いやです。だって、休む時は休みたいです。」

・「1日に7校時でもいいけど、期間が長いと大変になります。だから、夏休みなどに集中してやるのがいいと思います。」

※先生方と、検討に入ります。およそ20～30時間不足しています。行事とのからみをみながら、不足分の学習を実施する予定です。

Q3：来年度の予定（清流祭、全校登山、支部陸上、自然体験等）に意見をお願いします。

・「どれもやりたいです。小学校の時から、中学校の行事は、あこがれでもありました。でも、生徒数の減少や新型コロナの影響を考えると、できなくなることは仕方ないと思います。」

※よくわかっているみんなです。安心しました。工夫を凝らして、実施することの可能性に挑戦しています。4月には、よい知らせを伝えることができると思います。もちろん、みんなの協力も必要です。

先生方からホットなメッセージ！



学年の先生以外にも、みんなのことを応援している先生方がいます。丹波中は、全ての先生方が、みんなの応援団です。

【嶋崎先生】「1・2年生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？我が家では、家族で体調を崩し、自宅引きこもり生活を送りました。家から一歩も出ずに過ごすのは、退屈なものです。しかし、何事も前向きに！息子との時間を楽しんだり、てんとう虫やかめ虫の処理に没頭したり……。充実した時間を過ごしました！もう少し続く休校中の過ごし方は、保健だよりも参考にしながら、よい時間をすごしてください。」

【廣瀬先生】「みなさん、いかがお過ごしですか？いつもなら職員室にいて聞こえてくるみんなの楽しそうな声が聞こえず、さみしいです。私たちも、静まり返った校舎で、いつもと違う状況に、もやもやした気持ちが増えています。一日も早く、通常に戻り、活気ある丹波中になるように願っています。みんなの笑顔に会えるのを、楽しみにしています。」

【都さん】「みなさん、今日は何をして過ごしていますか？私は、手を怪我して、こんな姿になってしまいましたが、先生方に支えてもらいながら頑張っています。一日も早く皆さんに会える日を、楽しみにしています。」